

■ 福生のハコモノ（公共施設）を考えよう 地域懇談会 実施報告（概要版）

1 事業の概要

公共施設の老朽化への対応が課題となる中、市では、各施設の今後の方向性を定める「個別施設計画」の策定の準備を進めているところです。計画策定にあたり、公共施設の現状と課題、福生市の取組方針について市民との情報共有を行い、今後の合意形成を円滑にするため、公共施設をテーマにした地域懇談会を中学校区毎に開催しました。

	日時	会場	参加者数
第1回	令和元年 10月19日（土） 午後2時～4時	わかぎり会館 2階会議室	20人
第2回	// 11月2日（土） 午後2時～4時	田園会館 2階学習室	17人
第3回	// 12月7日（土） 午後2時～4時	さくら会館 3階ホール	21人

2 懇談会の内容

- 福生市からの公共施設の現状と課題、今後の取組（公共施設再配置基本方針）の説明
- ファシリテーターの小澤はる奈氏（福生市環境マネジメント専門監査委員・元福生市基本構想審議委員・元福生市公民館運営審議会委員・環境自治体会議事務局長・特定非営利法人環境自治体会議環境政策研究所理事長）による進行の元、ワークショップ形式で将来の理想の公共施設について話合いました。
- 懇談会の様子



グループに別れ「私の40年後」をテーマにした自己紹介の後、「日々通いたくなるような施設、近くにあると住みたくなるような施設、市民が幸せになるような施設の機能」をテーマにブレインストーミング。

みんなでアイデアを付箋紙に記入、模造紙に共通するものをグループ化しながら貼り、議論しました。





休憩時には、各グループの模造紙を貼り出し、みんなで見せ合いました。

休憩を挟んだ後、グループの代表者に、出されたアイデア、意見について発表してもらいました。



後半は、出された機能のアイデアを取り入れた、将来の公共施設のイメージ、予想図をグループ毎に模造紙に作画、描写してもらいました。(田園地区での懇談会は、台風の時、実際に避難された方の参加が多く、防災面からの意見と質疑に時間を取ったため、作画は行いませんでした。)



その後、代表者による発表、ファシリテーターによる講評、まとめを行いました。

3 ワークショップで出された「近くにあるといい複合施設」のアイデア

- 行政窓口：相談窓口 1 か所で用事が済む場所
- 学習機能：公民館 図書館 音楽室 陶芸窯 調理室 防音機能・スタジオ 自習室
- 発表できる機能：ホール 小劇場 ステージ ギャラリー
- 交流機能：集会所 フリースペース 多目的室 幼児と老人が手をつないで生活できる通所施設 誰でも食堂 調理場 学区をこえた交流 基地との交流 多世代が交流できる
- 健康増進・スポーツ機能：温水プール アスレチック トレーニングマシーン 軽スポーツ施設 体育館、酸素カプセル 血圧測定 医師、看護師と相談できる窓口
- 子どもの居場所：保育園 子育て相談 キッズスペース 青少年が集える場 学童クラブ
- 高齢者の居場所 自由に対話できる場所 温浴施設 サウナ 医療機関 シェアハウス
- 防災拠点機能 避難スペース 食糧庫 ヘリポート 非常電源 核シェルター

- 情報・通信技術 Wi F i 通信・インターネット設備 外国人に対する翻訳
- 屋上・敷地の活用：野菜畑 野菜の直売所 田んぼ 屋上庭園 池 UV 発電
- 店舗：カラオケ ビアガーデン 居酒屋 食堂 コンビニエンスストア カフェ 書店
趣味の物を売る店 映画館 企業店舗とのコラボレーション
- バリアフリー等：テラス リラックスできるリクライニング 休憩ルーム バリアフリー・
洋式トイレ エレベーター エスカレーター 間取りが変えられる 予約なしでも使える
- アクセス：自動運転の車の送迎基地 コミュニティバス（の停留所） 気軽に行ける

4 ファシリテーターからの講評（まとめ）要旨

短い時間でよくまとめていただきました。

各グループ、バラバラで作業をしていただきましたが、共通のテーマが出てきました。運動や、音楽、交流、学習のできるスペース、フリースペース、別々の目的で人が集まり、小さな子から高齢者まで集まって交流できるとか、飲食ができるとか、このあたりが施設にあったらいいというのが皆様の共通した願いなのかなと思いました。



さらに皆様、高齢化社会を意識して描いていただいたと思いますが、高齢化を意識しても、施設の真ん中に子育て支援機能を描くアイデアもあり、すごく暖かい社会の一つの象徴に思われ、うれしくなりました。

市民からの意見に、SDGsという言葉が出てきてびっくりしました。これは2030年ぐらいまでに世界全体で目指す目標で、教育、健康、環境、都市づくりなどいろいろな分野で、安心してみんなで幸せに暮らしていけるように社会を変えていこうとするもので、これらの課題に配慮していく施設であるべきという意見が出ました。このように少し大きな観点で、長い間愛される施設ができてきたらいいなと思います。

市は、コストの問題も含めながら、具体的な計画を作ることになろうかと思います。皆様からのアイデア通りの施設を、そのまま建ててしまうと、ものすごくお金がかかってしまいますが（笑）、なるべく皆様の描いていただいた思いが個別施設計画に残っていくように、私としてもウオッチしていきたいと思っていますので、市民の皆さんも関心を持って、これからも見ていただくとありがたいなと思います。



5 さいごに

懇談会では、ワークショップでのアイデアの他、市の取組の説明に対する意見、疑問点も多くいただきました。これらも含め、皆様からいただいた声は計画の策定の参考にさせていただきます。御参加された皆様 ありがとうございました。